

広報

たまたみ

9

2018 月号

No. 580
平成30年9月10日

今月の表紙

今月の表紙は、8月11日に開催された会津只見考古館まつりで居合を披露した佐藤長次さん(大倉)です。

刀を鞘(さや)から抜き、納めるまでの一連の流れを実践した佐藤さんは、巻き藁(わら)に対して基本刀法を紹介したあと、「水返し」「霞」といった大技斬りを披露し、来場者から大きな拍手が贈られていました。

(関連記事:P15)

<特集>

- 第8回R289フルコース踏破事業…………… 2～5
- 平成30年度只見町成人式…………… 6～7
- 全国ブナ林フォーラムの開催告知…………… 8～9
- 《News&flash》…………… 10～11
- 《町の話》…………… 12～15



国道289号の早期全線開通をPR

「第8回R289フルコース踏破事業」開催



▲約300名の踏破に挑んだ生徒と実行委員会などの皆さん



▲伝統のタスキを肩にする生徒の皆さん



▲猛暑の中を懸命に走る生徒の皆さん

― 実行委員会が開催

早期全線開通をPR

7月28～29日の2日間、今年も新潟市といわき市を結ぶ国道289号の早期全線開通を訴える「R289フルコース踏破事業」が行われました。これは、国道289号八十里越の早期開通や福島県と新潟県の交流促進などを目的に、町内の有志でつくる「R289フルコース踏破実行委員会」が主催しているもので、実行委員会の協力要請を受けた只見高校1、2年生26名が新潟市からいわき市間約300キロを自転車で行き抜きました。

第8回目となった今回も只見高校の野球部やバレー部の生徒が中心となり、ピンク

と紺のユニフォームを身に付け、

5人1組で新潟県庁をスタートし、約10キロの道のりを自転車ですきりしなげながらゴールのいわき市勿来の関を目指しました。その間、実行委員会が自動車やバスで並走し、生徒をサポートしていきました。

― 出発式で決意表明

全線踏破を誓う

前日の27日、生徒や保護者などの関係者が出席した出発式が只見振興センター前で開かれました。

出発式で、実行委員会の渡部仁一会長は「あと10年と言われている国道289号八十里越も5年後に開通予定と聞いています。それまでは、この事業を継続していきたい」



▲決意表明する生徒代表2年生の渡部倫さん(小川)



▲出発式で挨拶する渡部仁一会長(塩沢)



▲国定市長と一緒に記念撮影した生徒と実行委員会の皆さん



▲歓迎イベントで激励のことはを贈る国定市長

初日の28日、生徒たちは午前8時に新潟県庁前を出発し、国道289号を燕市、三条市と進み、八十里越工事区間はバスで通り抜け、初日のゴールである明和振興センターを目指しました。

とあいさつし、只見町総務課の新國元久課長と只見高校の佐竹正徳校長が激励のことはを贈りました。続いて、生徒とスタッフ一人ひとりが「最後まで諦めずがんばりたい」などと抱負を語り、最後に生徒を代表して只見高校2年の渡部倫さんが「全員で踏破を目指し頑張ります」と力強く決意表明しました。

三条市で交流

40キ地点の三条消防署では、三条市の国定勇人市長や市職員の方々に迎えられ、消防署内で歓迎イベントが行われました。歓迎イベントでは、国定市長が「皆さんの取り組みは八十里越の整備促進に向け大きな使命を持っています」と激励され、生徒代表

に三条市特産のモモを手渡されました。生徒たちは、お礼に南郷トマトや朝採りアスパラガスを手渡し、両市町の交流を深めました。

また、50キ地点の三条市役所下田庁舎では、小旗や横断幕を手にした下田商工会の方々に迎えられ、生徒たちはミネラルウォーターを手渡されました。

午後5時過ぎに只見側ゲートに到着した生徒たちは、八十里越の工事に従事されている美馬建設(株)から踏破祈願のジュースなどを手渡された後、午後5時30分にゲートを出発。ヤマサ商店ではジュースやスイカなどが振舞われ、

70キ地点の八十里越工事区間では、新潟県側のゲートで国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所の方々と合流し、バスで移動。途中、5号橋梁や8号トンネル、7号橋梁などで工事説明を受け、早期開通を目指す八十里越を実際に見学した生徒たちは関心を深めました。



▲最先端技術を駆使した八十里越の工事区間を見学する生徒と実行委員会の皆さん

町内各所で多くの方々から声援を受けながら力走。午後7時に初日のゴールである明和振興センターに到着し、横田雅則明和振興センター長が生徒たちの健闘を称えました。

— ゴールのいわき市

— 勿来の関を目指す —

2日目の29日、生徒たちは午前6時30分に明和振興セン

ターを出発し、国道289号を南会津町、下郷町、白河市、棚倉町、鮫川村と進み、ゴールのいわき市を目指しました。このコースは駒止峠（南会津町）や甲子峠（下郷町—西郷村）など急峻な道が多く、生徒たちは途中雨が降る中頂上を目指しました。待機中の生徒たちもバスから降りて一

緒に走り、自転車を後ろから押して全員で峠を登り切りました。90^〇地点の白河市内にある白河中継所では、国道289号（棚倉—下郷）建設促進協議会の方々に出迎えられ、「R289フルコース2018」オリジナルタオル

とエールをおくられました。110^〇地点の棚倉町にある棚倉中継点では、棚倉町職員の方々などが横断幕を手に出迎えられ、「ゴールを目指して頑張ってください」と生徒にジュースを手渡し、応援されました。

130^〇地点の鮫川村では、大薬勝弘鮫川村長に出迎えられ、「生徒の皆さんも頑張つて国道289号早期開通をPRしてください」と激励をおくられました。

また、その他にも多くの方々からの声援やジュースなどをいただきながらゴールを目指し、午後6時30分にいわき市勿来の関に見事ゴールしました。ゴール後、渡部仁二会長と生徒代表の渡部倫さんをみんなで胴上げし、フルコース踏破の喜びを分かちあいました。

— R289号への想い

繋がる沿線市町村 —

R289フルコース踏破を終え、渡部仁二会長は「国道289号の全線開通は、只見

- interview -



実行委員会副会長
酒井 正吉郎さん

この事業の原点は、平成5年から始めた八十里越の吉ヶ平から大麻平を歩く「希望と歴史の道八十里越を歩く会」です。そして、平成22年に第1回目のR289フル踏破事業をスタートさせ、今では開通予定5年というところまできました。現実味を帯びてきたこの希望の道路の開通を期待しています。

- interview -



実行委員
長谷川 清之さん

この事業は交通量が多い幹線道路などを走るので、生徒たちの安全面を一番に考えサポートしてきました。生徒たちにとっても工事区間を実際に見学し、セレモニーであいさつしたりと良い経験になると思います。今後も開通するまで頑張りたいと思います。



▲タオルを受け取る生徒



▲ヤマサ商店の佐藤弘さんにお礼する生徒たち



▲沿道で生徒たちを応援する町民の方々



▲峠で自転車を押して助ける生徒



▲いわき市勿来の関に到着し、約 300km を走破した生徒の皆さん



▲鮫川村の大楽村長と一緒に記念写真を撮る皆さん

町にとって生き残りをかけた最後のチャンスだと思っています。特に、冬期間の通行が重要で、交流人口が増えるだけでなく、三条市や燕市なども通勤圏となり、町内からの人口流出も防げると考えます。また、この事業を通して国道289号だけでなく、八十里越や河井継之助なども含めて考えるきっかけとなればと思っています。今回も多くの沿線自治体から応援をいただいたことは、全線開通やつながらることへの期待が感じられました。改めて5年後の開通に期待しています。今後も皆さまのご声援をよろしくお願ひします」と話されました。

このように、この事業は早期開通などをPRするだけではなく、開通前から多くの沿線町村とつながりを深めることも目的の一つとなっています。全線開通は只見町だけではなく、沿線市町村も期待を寄せており、実行委員会は今後も全線開通を目指し、活動していく予定です。

- interview -



只見高校2年
渡部 莉子さん

私は、今回が最後の参加となりますが、みんなで頑張つてゴールすることができて良かったです。駒止の峠はとても辛かったです。仲間が押ししてもらい次につながる事ができました。1年生には来年も頑張つてほしいと思います。

今回2回目の参加でした。自転車に乗る回数は3回だけでしたが、峠などでメンバーをサポートできてよかったです。関係者の皆さんや沿道で応援してくれた方々、差し入れをくださった方々には本当に感謝しています。ありがとうございました。

- interview -



只見高校2年
目黒 佳祐さん



▲成人式に出席した新成人40名と関係者の皆さん

決意新たに新成人としての第一歩を踏み出す

祝 平成30年度 只見町成人式

8月15日、季の郷湯ら里で「只見町成人式」が行われ、山村教育留学生第13期生5名を含めた40名の新成人が出席し、20歳の門出を祝いました。

式典では、菅家町長が「只見町の未来を切り開く担い手として、力になっていただきたい」と式辞を述べ、新成人一人ひとりに成人証書を手渡しました。続いての祝辞では、齋藤邦夫町議会議長から「正しい考え方と熱意を大切に頑張ってください」と励ましの言葉が贈られました。

家族からの手紙では、手紙が新成人の皆さんに渡されると、真剣なまなざしで目を通し、目に涙を浮かべる姿などが見られました。

式典の最後には新成人を代表して山村教育留学生で現在町役場に勤務する斉藤咲子さんが「皆さまからの言葉を励みに、精一杯努力していきます」と謝辞を述べ、新成人としての決意を新たにしました。



▲第二のふるさとの成人式に出席した留学生の牧原さくらさん



▲成人証書を受け取る新成人の菊地晶大さん



▲(写真上/下)家族の手紙を読む新成人



▲代表で謝辞を述べる斉藤咲子さん

— UIターンを呼びかけ —
 成人式当日、観光商工課では、町内で操業する誘致企業6社を紹介したPRパンフレットを新成人40名に配布し、UIターンを呼びかけました。また、成人者やその保護者を対象に、「只見町UIターン意向調査」を行い、将来的に只見町で就業したい方の状況や具体的な支援策などの検討を進めるために、今回初めて実施しました。



地域おこし協力隊
 松本 貴芳さん

— 先輩からのメッセージ —

皆さんは20代という第2の青春に入り、自信や希望に満ちた人もいれば、不安な人もいると思う。でも、どちらの自分も只見町は迎え入れてくれるあたかな町です。只見町を人生のお守りに今後の人生を歩んでください。

—— 新成人の夢と感謝のことば ——



渡部 優花さん

今まで支えてくれた多くの方々に感謝するとともに、大勢の人に貢献できる大人になりたいです。



伊藤 舜さん

今まで家族に支えられてきましたが、これからは私が支えられるよう立派な医師になりたいです。



菊地 萌花さん

お父さんお母さん20年間いつもありがとう。2人みたいに優しい大人になりたいと思います。



加藤 正靖さん

この町と沢山の方々のおかげで今の私があります。いずれ恩返しできるよう頑張っています。



大竹 まいさん

帰りたいなと思える地元があることがうれしいです。

ブナ林の保護・保全と持続可能な利用を通じた山間地域の未来を考える

「全国ブナ林フォーラム」を開催します！



全国ブナ林フォーラム

-ブナ林の保護・保全と持続可能な利用を目指して-

主催：只見町、全国ブナ林フォーラム町民実行委員会

後援：関東森林管理局、東北地方環境事務所、福島県、柏市、三条市、魚沼市、只見川電源流域振興協議会、只見ユネスコエコパーク推進協議会、日本 MAB 計画委員会、(公財)日本自然保護協会



▲記者会見を行った実行委員会長の菅家町長と渡部和子副会長



8月17日、全国ブナ林フォーラム町民実行委員会長の菅家三雄只見町長と同委員会副会長の渡部和子氏は、会津若松市役所記者クラブにて、全国ブナ林フォーラムの開催について記者会見を行い、より多くの方がフォーラムに参加いただくよう呼びかけました。会見の内容は次のとおりです。

― 全国ブナ林フォーラムの概要 ―

― フォーラムの概要 ―

只見町および全国ブナ林フォーラム町民実行委員会は、

10月20日(土)から22日(月)

までの3日間、只見町で全国

ブナ林フォーラムを開催しま

す。このフォーラムは、只見

町の「自然首都・只見」宣言10周年を記念し、日本各地でブナ林の保護・保全とその持続可能な活用を進める団体、個人に参加いただき、活動報告と意見交換、相互交流を図るものです。

シンポジウムで現地報告を行うのは、只見町を含め北は北海道から南は宮崎県までの6団体です。さらに、新潟大学名誉教授の紙谷智彦氏からブナ林の保護と持続可能な利用に関する基調報告もあります。

また、シンポジウムの前後日に、主に町外参加者を対象とし、只見の自然環境を理解し、体験していただくためのブナ林観察会を計画して

10月20日(土) 自然観察会

ブナ林散策ー只見沢と田子倉湖遊覧

- 時間 13:00~16:00
- 集合 ただみ・ブナと川のミュージアム 12:30
- 定員 30名
- 事前に申し込みが必要です。
- 参加費 1,500円/人

10月21日(日) 交流会

- 時間 18:30~20:30
- 場所 季の郷 湯ら里
- 参加費 4,000円/人
- 事前に申し込みが必要です。

10月22(月) オプション自然観察会

- 時間 9:00~13:00
- 集合 ただみ・ブナと川のミュージアム 8:30
- 定員 各コース10名
- 事前に申し込みが必要です
- 参加費 1,000円/人
- 以下の3つのコースのいずれかを選択
- ①ただみ・ブナと川のミュージアム
+ただみ観察の森「檜戸のブナ林」
- ②ただみ観察の森「蒲生あがりこブナ森」
- ③ただみ観察の森「梁取のブナ林」

— シンポジウム —

10月21日(日) 10:00~17:00

- 季の郷 湯ら里 ゆきつばき
- 10:00 主催者・来賓挨拶
- 10:20 国内基調報告
新潟大学 名誉教授 紙谷智彦 氏
- 11:00 国内報告<午前の部>
北海道 黒松内町ブナセンター 斎藤均 氏
岩手県 花巻のブナ原生林に守られる市民の会
望月達也 氏
- 13:00 国内報告<午後の部>
長野県 いいやまブナの森倶楽部 渡辺隆一 氏
徳島県 かみかつ里山倶楽部 原田寿賀子 氏
宮崎県 綾町 河野耕三 氏
福島県 只見町 中野陽介
- 15:00 アトラクション(子供による早乙女踊り)
- 15:30 パネルディスカッション
- 17:00 ブナと只見宣言(仮称)、閉会

※シンポジウムにはどなたでも参加できます。無料。
※会場において「自然首都・只見」伝承製品の展示・即売を行います。
※昼食(お弁当、1,000円/個、当日払い)を希望される方は事前に申し込みが必要です。

■お申込み・お問い合わせ先

全国ブナ林フォーラム実行委員会 事務局(只見町ブナセンター)

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2590番地 ただみ・ブナと川のミュージアム内

Tel 0241-72-8355 FAX 0241-72-8356

ホームページURL <http://www.tadami-buna.jp/>

います。

—なぜ、只見町で
開催するのか?—

只見町は、「ブナと生きる

まち雪と暮らすまち奥会津

只見の挑戦 真の地域価値観

の創造」の理念の下、都市型

生活・文化に追随することな

く、地域の伝統的な生活文

化を抛り所に、独自の地域

発展を目指す町づくりを選

択、只見町は日本の自然の中

心地であるとの自負の下、平

成19年に「自然首都・只見」

宣言を行い、さらに平成26年

にユネスコエコパークの登録を

実現してきました。そして、

ブナ林に代表される自然環

境・生物多様性を保護・保

全しつつ、地域の資源と伝統

技術を活かした持続可能な地

域的発展を目指し、様々な

取り組みを行っています。こ

うした取り組みをより確実な

ものとし、モデル地域として

全国的な山間地の地域振興の

取り組みの一翼を担うことは

只見町の使命でもあると考え

ており、今回の全国ブナ林フ

ォーラムは、その活動の一環

です。

—フォーラムに
期待される成果—

①参加者と共に、ブナ林と

その生物多様性の重要性を確

認し、その保護・保全と持

続可能な利活用を考え、②只

見町民には、「自然首都・只

見」宣言に込められた地域づ

くりを目指し、地域社会の

維持・発展に取り組む決意

を新たにし、さらに③対外的

には「自然首都・只見」およ

び「只見ユネスコエコパーク」

への理解と協力いただくこと

を期待します。

フォーラムを通して、①ブナ

林の保護・保全と持続可能

な利用を目指すブナ宣言(仮

称)と②自然首都・只見2

018宣言(仮称)も予定

しています。

降水量の少ない状況を受け

只見町が渇水対策本部を設置

例年にならない降水量の少ない状況が続く只見町では、8月2日に町で初めてとなる「渇水対策本部」を設置しました。

これは、少雨や高温による農作物の被害や火災予防、熱中症への対策などに取り組むために対策本部を設置したもので、農業用揚水ポンプの貸し出し、営農指導の強化などを行います。

7月の降水量は、平年の約12%となっており、一部のほ場で水が不足している状況が見られました。本部長の菅家町長は「被害を最小限にとどめたい」と話しました。



▲渇水対策本部を設置した本部長の菅家町長(左)と副本部長の橋本副町長(右)

龍泉寺の子安地藏尊菩薩を参拝

第3回お地藏様まつり開催

8月4日、第3回お地藏様まつりが布沢・龍泉寺境内で開かれ、町内外から多くの方々が参拝に訪れました。これは、50年前に途絶えたまつりを3年前に復活させたもので、ふぎわ樂しさと元気づくりのみんなの会、ほっとランド・フォレスト、宇都宮大学Dフレンズなどが主催しました。

午後7時から始まったまつりでは、朝から並べた約千本のろうそくが灯され、幻想的な雰囲気の中境内までの道を照らしていました。境内前では赤飯などが振舞われ、参拝客は足を止め交流を深めていました。



▲子どもを守るとされる子安地藏尊菩薩に手を合わせる参拝者の親子

平成29年度の個人県民税完納

只見町が県知事より感謝状

8月7日、個人県民税優良町村に対する知事感謝状の贈呈式が役場で行われ、只見町が表彰を受けました。

これは、平成29年度における只見町の個人県民税が完納という優良な功績だったことから表彰されたもので、平成28年度の徴収率99・8%から完納となりました。

贈呈式では、金子隆司南会津地方振興局長から菅家町長へ感謝状が伝達され、金子局長は「町民の方々に納税への深いご理解をいただき感謝いたします」と完納に対して称えられました。



▲感謝状を手渡した金子局長(右)と受け取った菅家町長(左)

小学生が英語でミュージカル

「まほうのじゅうたん」を披露

8月10日、教育委員会主催の英語ミュージカルワークショップ「まほうのじゅうたん」が只見振興センターで行われ、約60名が来場しました。これは、児童が英語に親しむために昨年から企画されたもので、講師にブロードウェイ歌手のクリス・レベンズ氏、脚本や振付などを手掛けるミキ・マスタ氏とカオリ・シマダ氏を迎え、町内の小学生11名が出演しました。

3日間の練習で本番を迎えた児童は素晴らしい演技を披露し、会場からは大きな拍手が贈られています。



▲短期間で英語のセリフと振付を覚え見事な演技を披露した児童の皆さん



▲2日間で延べ200名以上の乗客が降り立った只見駅

7月28～29日の2日間、JR只見線の臨時列車「快速・風つこ只見夏休み満喫号」が新潟県の長岡駅から只見駅間で運行され、窓枠を外した開放的なトロッコ列車が2日間で延べ200名以上の乗客を乗せて走りまわった。只見駅前では、甘酒やどぶろく、スイカの振る舞いなどが行われ、町内事業者による地元物販コーナーが設けられました。また、町内の施設が見学できるバスツアーのほか、夏でも冷たい只見用水を活用したイベントや長靴飛ばしコンテストなどが行われ、乗客たちは只見の夏を楽しんでいました。

**JR只見線の夏休み臨時列車
快速・風つこ只見夏休み号が運行**



▲テープカットで運行を祝った関係者の皆さん

県と会津乗合自動車連携する路線バス事業の運行が8月11日から始まり、同日に金山町の会津川口駅前でも式典が行われました。これは、会津地域の二次交通拡充に向けた実証事業で、「只見川線」「田島只見線」「田島川口線」の3ルートで運行を開始し、JR只見線や東武鉄道特急「リバイ会津」と合わせた広域周遊を実施しています。只見町では同日から「田島只見線」が運行され、料金は区間最大で1,500円、基本土日祝日の運行で町内にはバス停が4箇所設置されています。利用の際はバス停での乗降が可能です。

**奥会津3ルートでバス運行
只見町で「田島只見線」運行開始**



▲家族に囲まれ祝されるマサコさん(中央)

8月11日、黒谷字町在住の五十嵐マサコさんが百歳の誕生日を迎えられ、ご家族同席のもと知事賀寿贈呈式が同日、自宅で行われました。贈呈式では、県から知事賀寿状と記念品、町からはお祝い金などが贈られ、長男の敏博さんが「母は文房具店や日本舞踊など物事に何でも取り組み人で、今も元気に生活しています」と謝辞を述べられました。マサコさんは子ども3人、孫7人、ひ孫7人に恵まれ、若い時には日本舞踊の指導者として活躍されました。1日3食しっかり食えることが長寿の秘訣とのことでした。

**黒谷在住の五十嵐マサコさん
満百歳で知事賀寿を贈呈**



▲第10期生として参加する10名の皆さん

8月22日、地域人材育成ダイヤモンドプラン事業・第10期生の開講式が朝日振興センターで開かれました。第10期生10名は「只見の素材を活かせる人材育成」をテーマに2年間受講し、1年目は地域の素材を活用した先進地の事例などを学び、2年目は事業化を目指した受講生主体のキャリアラムに取り組みます。開講式では、渡部教育長と橋本副町長が「節目の10期生でこれまでの受講生が106名となった。町を支える人材として頑張つてほしい」とあいさつし、受講生が「新しい事業を目指したい」などと抱負を語りました。

**10期生・素材を活かす人材育成
人材育成ダイヤモンドプラン開講**

戊辰150年・長岡藩家老・河井継之助を偲ぶ

塩沢の医王寺で「河井継之助墓前祭」を営む

8月16日、塩沢観光協会と塩沢区が主催する「河井継之助墓前祭」が塩沢の医王寺で執り行われ、雨が降りしきる中、町内のほか新潟県長岡市などから約80名が出席しました。没後150年目の命日を偲んだ今年は、長岡藩主だった牧野家の17代当主・忠昌氏(76歳)も参列しました。

墓前祭では、田村勝男塩沢観光協会会長が「戊辰150年を迎えた今年、多くの方々に河井継之助総督の法要にお越しいただき感謝申し上げます」とあいさつされ、菅家町長が「終焉の地として総督の志を後世に伝え、越後と会津の絆を深めたい」と追悼の言葉を述べました。忠昌氏など多くの出席者が焼香し、長岡市の前田剣豪会が剣舞を奉納しました。



◀ 継之助の墓前で焼香する忠昌氏



▼ 剣舞を奉納する前田剣豪会の方々



▲ それぞれの想いを披露した語る会

ラストサムライ・河井継之助の想い語る 「河井継之助を語る会」開催

8月16日、河井継之助墓前祭の後、「河井継之助を語る会」が塩沢集会施設で開かれ、墓前祭に参列した町内や長岡市などの関係者約50名が参加しました。開催に先立ち、語る会の目黒良樹代表が「今でも河井継之助を誇りにしている只見町のことを新潟県の方々にも知っていただきたい」とあいさつしました。語る会に参加した長岡藩主・牧野家17代当主の忠昌氏は「歴史的にも只見町にはお世話になり感謝を申し上げます」と話され、只見町河井継之助記念館ボランティアガイドの五十嵐アツ子さんは「継之助は最後まで忠義を尽くしたまさに『ラストサムライ』だと思っています」と述べ、参加者それぞれが継之助への想いを語り合いました。



みいこ
山内 美以子さん
(二軒在家)



吉津 ひなたさん
(福井)



こあ
五十嵐 心愛さん
(熊倉)

虫歯の
ない子



(7月31日)
3歳児検診

町内各地区で盆踊り大会や盆フェスを開催 各地区で盆イベント賑わう！

8月14～15日、各地区で盆イベントが開催され、多くの帰省客とともに賑わいをみせました。

只見地区では盆踊りが2日間開催され、只見小学生「なんでもチャレンジ隊」によるおはやしや花火大会などが行われました。朝日地区では朝日「盆」フェスが開かれ、来場者は多彩なステージイベントと多く並んだ出店を楽しんでいました。明和地区大盆踊りでは、明和青年団のおはやしにあわせて仮装した来場者がやぐらの周りを踊り、最後にはお楽しみ抽選会が行われました。



▲只見地区の盆踊りでおはやしを披露した「なんでもチャレンジ隊」の皆さん



▲朝日盆フェスでアコースティックライブを披露した渡部美香さん、美依さん親子(中・右)と柏木真吾さん(左)



▲アメリカの大人気キャラクター「ミニオンズ」に仮装して明和地区大盆踊りに参加した子どもたち

只見町ブナセンター 自然観察会

浅草岳山麓「大久保沢のブナ林を観察しよう！」



▲田子倉眺めから山々を一望した参加者の皆さん

の音があがっていました。今回は、ブナ林をはじめとした只見町の象徴的な森林植生や自然景観について知ることのできた観察会となりました。

8月5日、浅草岳の田子倉方面を観察地にしたブナ林の自然観察会が開催され、町内外から約20名が参加しました。

今回の観察会は、浅草岳只見沢登山口から大久保沢の水場を経由し、田子倉眺めまでを歩くコースで行われ、観察ポイントではブナセンタースタッフが解説しました。登山口付近では、豪雪により形成された雪食地形と複雑な立地環境に多様な植物群落がパッチ状に分布するモザイク植生を観察し、只見沢沿いではトチノキ・サワグルミの山地溪畔林、大久保沢では発達したブナ天然林、尾根部では低木林を観察しました。終点の田子倉眺めでは田子倉湖や只見の山岳景観を一望し、参加者からは感嘆

第71回 県民スポーツ大会・南会津大会 只見町勢が優勝・準優勝を飾る！

8月26日、県民スポーツ大会・壮年ソフトボール競技南会津大会が南会津町びわのかげ総合運動公園で行われ、只見町予選で優勝した明和ソフトボールクラブと準優勝の朝日ソフトボールクラブが出場しました。

郡内の7チームで争われた大会は、明和と朝日の両チームが勝ち上がり、決勝で対戦しました。結果、8-7で見事明和が優勝、朝日が準優勝を飾り、只見町勢が活躍した大会となりました。



▲優勝を飾った明和ソフトボールチームの皆さんと大会の選手宣誓をした佐藤佑介選手(右下段2番目)

JR只見駅開業55周年を祝う 「駅前広場屋台村」を開催！

8月18日、JR只見駅の開業55周年を記念した「駅前広場屋台村」が只見駅前広場で開かれました。これは、地元有志の方々による「駅前広場屋台村実行委員会」が企画したもので、町内事業者4店舗が出店しました。

会場には只見駅へのメッセージボードが設置され、来場者は「100周年目指して頑張ってください」などと只見駅にお祝いの言葉を寄せ、来場者全員で只見駅開業55周年を祝いました。



▲55を意味するよう両手を広げて只見駅開業55周年を祝う来場者と実行委員会の皆さん

亀岡ビーチバレーコートで熱戦 「第1回 只見カップ」開催！

8月26日、県バレーボール協会と県ビーチバレーボール連盟が主催するビーチバレーボール大会「第1回只見カップ」が亀岡ビーチバレーコートで行われ、町内外から男子6チーム、女子9チームが出場しました。

2人ペアで行うこの競技は、部門ごとに優勝を目指し、リーグ戦とトーナメント戦で争われました。出場した選手の皆さんは、砂に足を取られながらも熱戦を繰り広げていました。



▲第1回只見カップに出場した選手の皆さん

施設入所者の方々と地域住民が交流を図る 第3回 福祉の里夏まつり

8月26日、福祉の里エリアの関係施設で実施する「第3回福祉の里夏まつり」があさひヶ丘の前庭広場で開催され、施設利用者の方々や地域住民などが来場しました。

会場では只見小学生「なんでもチャレンジ隊」などのお囃子に合わせ、来場者がやぐらを周りながら盆踊りを楽しみました。また、ボランティアなどによる出店が並んだほか、天領只見仙獄太鼓保存会の演奏が披露され、会場は賑わいを見せました。



▲盆踊りを楽しむ来場者の皆さん

猛暑の只見町で川遊びを楽しむ！ 「川遊び体験」を開催

8月1日、朝日地区地域づくり委員会が主催する「川遊び体験」が黒谷川あまぶち周辺で開かれ、町内3地区から8名の子どもたちが参加しました。

川遊び体験では、目黒俊行会長が「今日は水の日です。川遊びを楽しんでください」とあいさつし、子どもたちは箱眼鏡を使って川の中を観察したり泳いだりしていました。体験後は川辺でバーベキューが行われ、子どもたちは夏の川遊びを満喫していました。



▲川遊び体験に参加した親子と安全な川遊びを実施した委員会の皆さん

福島大学生が小・中学生に学習指導 町内で「サマースクール」開講！

8月20～23日までの4日間、小・中学生を対象にした学習塾「サマースクール」が各振興センターで開かれ、3地区の小・中学生31名が受講しました。福島大学で教師を目指す大学生9名が講師を務め、高校生4名も講師として参加しました。

指導を受けた受講生からは「分からない問題が理解できた」などの声が聞かれ、大学生も「最後は自分の力で解けるよう指導しています」と話していました。



▲熱心に指導する大学生と苦手な科目に挑戦した受講生の皆さん

古代の四獣鏡や火おこしなどを体験！ 会津只見考古館まつり開催

8月11日、会津只見考古館まつりが同館で開かれ、夏休みの子どもたちや地域住民などが来場しました。

会場では、新潟県三条市と魚沼市の火焰型土器や町で発見された神皇正統記(複製)などが展示され、三条市のミニ四獣鏡づくり体験や火おこし体験コーナーなどが設けられました。また、海外でも活躍される佐藤長次さんの迫力ある居合が披露され、来場者からは大きな歓声と拍手が贈られていました。



▲三条市のミニ四獣鏡づくりを体験する参加者の皆さん

大会で地域の交流を深める 朝日地区のグラウンドゴルフ大会開催

7月26日、第2回朝日地区地域づくり委員長杯グラウンドゴルフ大会が楡戸農村公園で開かれ、朝日地区から約40名が参加しました。

熱戦を繰り広げた大会は、男性の部で渡部稔さん(下福井)、女性の部で松橋保子さん(楡戸)が優勝を飾り、景品が贈られました。また、ホールインワン賞には5名の方が受賞し、それぞれに景品が贈られました。猛暑の中行われた大会は、大いに盛り上がりました。



▲大会に参加した朝日地区住民の皆さん

8月から新しい看護師さんが着任しました!

8月1日から4ヶ月間、朝日診療所で勤務していただく会津中央病院看護師のひるたなごさ蛭田渚さんです。蛭田さんは幼稚園の頃から看護師になりたいと思い、会津若松市内の仁愛高等学校に入学し、そして中央病院の看護師となりました。理想は、患者の立場になり笑顔で優しく対応できる看護師だそうで、理想に近づけるよう日々励んでいます。只見町では訪問看護を体験し、患者を身近に感じることができ、訪問看護の重要性を感じたそうです。「外来にいるので声をかけてください」と話す蛭田さんをどうぞよろしくお願いたします。



蛭田 渚さん
(出身/石川郡浅川町)

広報ただみ診療所

朝日診療所

医師 森 冬人



「医学生実習のご協力への謝辞」

私は朝日診療所で働いて4年目になります。かつて只見へ来た医学生たちが日本の各地で医師として仕事をしている事に時の流れを感じます。只見町には医師・看護師・保健師を目指す学生が毎年実習に来ています。今年も福島医大医学部6年生が5名、1人2週間の実習にきました。只見町での実習は昔から人気があります。2011年の震災・水害が起きた年も5名の医学生が来ました。私もその1人でした。当時から只見町の実習がとても勉強になるとの評判でした。なぜ評判が良いのか。主な理由は①田舎で働く医師の実情がわかる、②地域で働く様々な医療福祉職の仕事を学べる、③訪問診療・訪問看護を見学して患者さんの日常生活を学べる、④ホームステイ先の大家さんが優しいなどです。特に1つ目。田舎で働く医師の仕事はきつい・つらい・面倒と悪い印象を多くの医学生がなんとなく持っています。最近の学生は「年配の先生がやっとなんて頑張っている

持っている診療所だと思ったら、若い先生ばかりでびっくりした」そうです。実習を通して、へき地で働くことへの偏見が無くなる事が多いです。学生時代、私もやりがいを持って働く只見の先生方を見て、良い印象を持ちました。当時の訪問看護師さんなどお世話になった方もよく記憶しています。

只見町の実習は大学病院と違い、当時の私にとって「宝物のような特別な経験」でした。学生時代に只見に来た医師が様々な所で働いています。ある医師は若松市内の病院に勤務し只見の患者さんも一生懸命診察しています。別の医師は、へき地医療に貢献したいと言って、出身県のへき地で仕事をしています。今後も多くの学生がよく学べるよう、私自身も手本になるような医師として頑張りたいです。

学生の見学にご協力頂いている町民の皆さま、医療福祉関係者、そして学生を温かく迎えてくれるホームステイ先の皆さまに改めて感謝いたします。

地域おこし協力隊として 只見町観光振興協力隊

vol.46

やましな まい
山科 麻伊



「只見町の見えない宝」

今、私は「インバウンド(訪日外国人)観光客受入環境整備」を実施しています。まだまだ只見町には多くの外国人が来ているとは言えませんが、東京オリンピック、JR只見線開通などの多くのチャンスが近年中に押し寄せることを考えると、受入整備とマーケティングを行うことは、インバウンド誘客推進の上でもかなり重要な基礎になると思います。その関係でよく、町内の観光関係者の方々から「外国人でも日本人でもお客様はお客様」という話をよく耳にします。お客様には精いっぱいのおもてな

しをしたい。それは誰であろうが関係ない。「楽しかった。只見にまた来たい」と言ってもらえるように、真心を込めておもてなしするんだ!という心意気がかっこいいなと感動しました。現代は都市部を中心に個人主義が蔓延する時代ですが、只見町には「時代がどうあろうと、誠意や真心というものが大事」というような考えを持っている方が多いと感じます。時代に合わせて変わっていく部分もありますが、その心意気は根本にあるべき大事なことだと思います。私も観光振興協力隊として真心をもって、残り半年の任期を町のために頑張りたいと思っています。

只見 ぜんめえ物語 ⑤

— ぜんまいの仲買人 —

六月の半ばから下旬にかけては、泊まり山の人たちが山を下りてくる時期です。この時分、只見町には町内外を問わず、大勢のぜんまい仲買人が、競争で買い付けに走り回っていました。そして、昭和四〇年代半ばには、この数週間に只見町だけでも数億円という大金が舞い降りていました。まさに、ぜんまい版ゴールドラッシュの様相を呈していたのです。



▲ぜんまいのシビ切り(イラスト・筆者)

次に、竿秤さおばかりにかけて目方を測ります。そして、伝票に、たとえば「極太」一貫五五〇匁、「太」三〇貫二四〇匁というように記入していきます。同時に生産者が納得できるよう説明しながら単価設定を行います。単価はぜんまいの様子によってまちまちでした。つまり、おなじ「太」でもさまざまな単

仲買人がぜんまいを買い付けるとき、生産者ごとに品質のばらつきがあるので、必ずすべてのぜんまいを自身の目と手で確認してから価格交渉をしたといえます。具体的には、カマスや南京袋に入ったぜんまいを持参した袋に詰め替えます。この時、自身の手でぜんまいをつかみ上げながら、ぜんまいの乾燥状態や縮れ具合、皺しわの様子、カビの有無、シビ(ゼンマイの元の硬い部位)切りが、きちんとされているかどうかを確認します。

価設定がなされました。これは、生産者にとっては一番緊張する瞬間でもありました。これら一連の流れは、後でトラブルが発生しないようにすべて生産者の目の前で行っていました。

支払いは、通常、現金支払いが原則。一軒の家に百万円、二百万円という札束を置いてくるというのは、そんなに珍しいことではなかったといえます。だから、仲買人は数千万円という資金をいかに準備できるかが大きな課題となっていました。

また、ゼンメエメエテ(商品のツケや借りたお金の返済もこの時一緒に行われました。ゼンメエメエテを差し引かれた後、生産者の手元に残る現金はほんのわずかというケースも多々あったようです。

昔、村人の中には翌春の泊まり山をもくろんで、多額の借金を背



▲竿秤(さおばかり)で行うぜんまいの計量(イラスト・筆者)

負い込む人も見られました。しかし、本人や家族の病気や怪我など予想外の災難に見舞われ、山に行くこともままならなくなるといったケースもありました。こんな時、担保に入っていた田畑を失ってしまった、生活が一層きびしくなってしまうという話もよく耳にします。そんなことから、只見町ではぜんまいのことを「貧乏草」と揶揄やぶゆした言い方も伝わっています。

米屋商店の菅家俊一さんは、父の俊雄さんがぜんまいの仲買を手広く行っているのを見たり手伝ってきました。昭和四〇年から六〇年ごろのぜんまい取引量は数千貫目にも上り、倉庫では人を雇って毎日山のように積み上げら

れたぜんまいを前にシビ切り作業が行われていました。時には、ひと春で一〇貫目入りの南京袋が五袋、つまり、約一八〇キロのシビが出たこともありました。この作業の中で再度、極太・太・細と仕分けされました。そして、最後に南京袋一袋につき一〇貫目のぜんまいを詰めて一俵とし、荷札に「極太」などの表示をしました。また、大量のぜんまいを長期間保存しておくためには、薬品による燻蒸くんじょうも行われなければなりませんでした。

米屋商店の場合、集めたぜんまいを売る先は、関西の乾物卸業者が主でした。中でも大阪の「花菱」という業者は群を抜いていたといえます。

一方、新潟県小出の「星元」というぜんまい仲買人は、全国からぜんまいを買い集める大手の仲買人として広く知られていました。当時、只見町には一〇軒ほどの仲買人がいたのですが、その小さな仲買人の多くからも買い上げていました。只見町で生産されたぜんまいの三割ほどが「星元」に流れて行ったといえますからその規模が推し量られます。



町民文芸

只見短歌会

七月詠草

大塚栄一

指導

あと何年かく健やかに動けるか畑は私の生き甲斐の場所

馬場 八智

西日本豪雨被災地の痛ましさをテレビに見つつわが町思ふ

関谷登美子

連日の猛暑に萎え行く野菜類雨待ち焦がれ空を見上げぬ

渡部ゆき子

偶然に知恵の輪外れふたびを試せどその夜は遂に外せず

新国由紀子

頂垂るる如く下向くあじさいの花期移らふはただに惜しまる

目黒 富子

玄関先の赤く実りしトマト採り今年はどうかと皆で楽しむ

飯島小百合

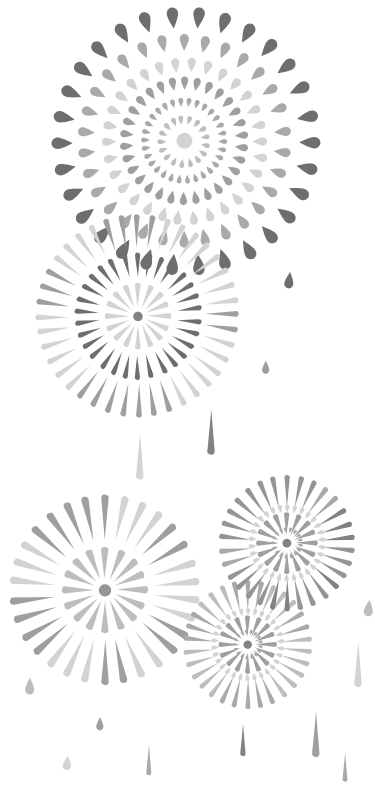
この夏の異常気象に畑作は水の不足に枯れ苗多し

渡部ヨリ子

こぶし苑ショートステイに來しわれにスタッフらみな明るく優し

新国 洋子

(出詠順)



只見俳句会

八月例会

目黒十一

指導

履き心地よきサンダルや朝曇

恒 夫

手に鍬の少年の日や敗戦日

礼

開け放す居間にも届く夕焼雲

寝転びて高校野球夏の午後

信

サンダルに朝露の付く盆の道

一 穂

両隣灯籠細木盆用意

父と子の手と目の早さ岩魚取る

都

ニンジンの間引きを急ぐ妻の声

修 一

初婚や朝採りキウリかぶりつく

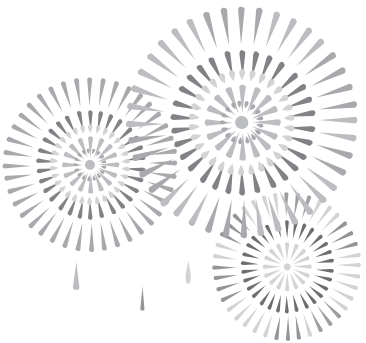
夕立や机上の手紙ふと暗く

味代子

東京の五輪見るとや生身魂

吉 児

同級も戦友も無し虫を聴く



今月のお知らせ

電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎ 82-5210
地域創生課	
創生企画係 広報広聴係	
ユネスコエコパーク推進係	☎ 82-5220
町民生活課	
税務係	☎ 82-5110
町民係	☎ 82-5100
保健福祉課	
保健係	☎ 84-7005
福祉係	☎ 84-7010
農林建設課	
農林係	☎ 82-5230
建設係	☎ 82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎ 82-5240
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所	☎ 84-2221
(歯科)	☎ 84-2612
こぶし苑	☎ 84-2101
只見振興センター	☎ 82-2141
朝日振興センター	☎ 84-2111
明和振興センター	☎ 86-2111

お知らせ

10月の強化月間 「不正軽油撲滅」について

県では、10月を「不正軽油撲滅強化月間」と定め、関係団体と協力して、不正軽油の排除に取り組んでおります。

軽油に課税される軽油取引税を脱税する目的で、軽油に灯油や重油を混ぜるなどして製造される燃料、いわゆる「不正軽油」が正常な軽油と偽って販売・使用されている事例があります。

この不正軽油は、悪質な脱税行為であり、環境汚染や不法投棄の問題のほか、公正な市場競争の阻害、更には暴力団等の資金源にもつながります。

「不正軽油を作らない・売らない・買わない・使わない」

不正軽油の防止・撲滅には、県民の

皆様のご協力と情報提供が欠かせません。不正軽油の情報提供につきましては、次のお問合せ先までご連絡ください。

●お問合せ

県庁総務部税務課
 ☎ 024(521)7205
 fax 024(521)7905
 南会津地方振興局県税部
 ☎ 0241(62)5214
 fax 0241(62)5219

10月の強化週間 「公証週間」について

10月1日から7日は「公証週間」です。公証制度は、公証人が大切な遺言や契約の公正証書の作成、確定日付の付与、定款や私文書の認証など、国の公証に関する事務を取り扱う制度です。公正証書に書かれている内容は、裁判その他の面で、高い証拠力を与えられます。また、公正証書には「執行力」があり、金銭に関わる契約で相

手が約束に反して金銭の支払いをしなかつた場合、裁判抜きで相手の財産に対し強制執行ができます。

遺産相続、任意後見契約、金銭貸借、不動産貸借、離婚に際しての慰謝料、養育費などの問題は、後々にもめごとを引き起こしがちです。そんなとき遺言や当事者間の取り決めに公正証書にしておけば、トラブルを防止し、権利や財産を守ることができます。

による保守管理の徹底を推進していきます。

長くご使用の車には、細やかなケアが必要です。定期点検を実施して車の不具合を減らしましょう。

●お問合せ

国土交通省東北運輸局
 福島運輸支局
 ☎ 024(546)0342

相談は無料ですので、お気軽にご相談下さい。

●お問合せ

会津若松公証役場
 ☎ 0242(37)1955

9・10月の強化月間 「自動車点検整備推進運動」

国土交通省では、9月を全国統一強化月間、10月を地方独自強化期間として「自動車点検整備推進運動」を全国的に展開し、自動車ユーザー

財務省福島財務事務所より 多重債務相談窓口のご案内

財務省福島財務事務所では、借金を抱えお悩みの方々からの相談に応じています。借金問題はさまざまな方法で解決できます。秘密は厳守で相談は無料です。お気軽にご相談ください。

●相談窓口(平日のみ)

財務省福島財務事務所理財課
 午前8時30分～正午
 午後1時～午後4時30分
 ☎ 024(533)0064

税 今月の納期

9月25日までに納めましょう

- 国民健康保険税(3期)
- 水道使用料(2期)
- 農集排使用料(9月分)
- 介護保険料(3期)
- 後期高齢者保険料(2期)

働くみんなに、今こそ確かな安心を。

◆ 掛金の一部を国が助成
 ◆ 掛金は全額非課税
 手数料も不要
 ◆ 外部積立型なので
 管理が簡単
 ◆ パートさんの加入もOK

詳しくはホームページへ
 中退共 検索

(独)勤労者退職金共済機構
 中小企業退職金共済事業本部
 TEL.03-6907-1234 FAX.03-5955-8211

ハロウィンジャンボ5億円
 (1等3億円・前後賞各1億円合わせて)

ハロウィンジャンボミニ5千万円
 (1等3千万円・前後賞各1千万円合わせて)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

各1枚 300円
 10月1日(月)2種類同時発売!
 発売期間 10/1(月)~10/23(火)
 公益財団法人福島県市町村振興協会



新しい地域おこし 協力隊が着任しました!

教育委員会高校振興の協力隊として、8月から只見町にきました阿部利浩です。出身は福島市で前職はレーザープリンタ、空気清浄機などの設計に携わってきました。私は、小さい頃に過ごした昔の福島市の田舎とどこか似た雰囲気の只見町は、懐かしい気持ちにさせられます。私なりに高校振興を掘り下げていくと、結局町の振興なしには成り立たないので、高校の卒業生が只見に戻って子どもを育てていける町になるように、何かお役に立てればと思っています。

新しいALTの先生が 着任しました!



私の名前はショーン・カーターです。アメリカ出身で家はコロラド州にあります。8月から只見町の各小学校で、外国語指導助手(ALT)として働きます。私は日本の様々な所を見てきましたが、只見町が一番美しく、皆さんとても優しいです。只見町ではさらに日本語を磨き、温泉に挑戦し、趣味の写真で町の美しさを世界に発信したいです。そして町の子どもたちや皆さんに会えるのがとても楽しみです。皆さん、私を見かけたら「ハイ!」と声をかけてください。

「朝日地区親善ソフトボール大会」開催

8月14日、朝日地区の恒例行事「第36回朝日地区親善ソフトボール大会」が只見中学校グラウンドで開催されました。この大会は、お盆帰省者と地域住民が集落単位でチームを結成し優勝を目指すもので、人数が少ない集落は連合チームで出場しました。5チームで争われた今大会は、強打を誇った黒谷チームが見事優勝を飾りました。大会の途中には各代表選手によるホームラン競争も行われ、大きな飛球に歓声が沸き起こっていました。



▲優勝した黒谷チームの皆さん

町長スケジュール

(8月分)

- | | |
|---|--|
| <p>2日 JA会津よつば・17市町村合同トップセールス
(～3日東京都)</p> <p>4日 沼沢湖水まつり(金山町)</p> <p>6日 南会津地方広域市町村圏組合管理者会、
南会津地方町村会臨時総会、
南会津地方環境衛生組合管理者会(南会津町)</p> <p>7日 国民民主党移動政調会、
県道小林館の川線改良促進期成同盟会総会、
個人県民税優良町村に対する知事感謝状贈呈式、
只見ユネスコエコパーク連絡調整会議</p> <p>8日 一級河川只見川河川整備促進期成同盟会東北地方
整備局要望
(～9日仙台市、東京都)</p> <p>10日 (株)会津ただみ振興公社臨時株主総会</p> | <p>11日 百歳高齢者賀寿贈呈式、
あいづ二次交通強化支援事業出発セレモニー
(金山町)</p> <p>15日 只見町成人式</p> <p>16日 河井継之助墓前祭、河井継之助を語る会</p> <p>17日 全国ブナ林フォーラム記者会見(会津若松市)</p> <p>20日 南会津地方環境衛生組合議会定例会(下郷町)、
南会津地方広域市町村圏組合議会定例会(南会津町)</p> <p>24日 鉄道軌道整備法改正案国会成立記念講演会</p> <p>26日 福祉の里夏まつり</p> <p>27日 只見地区圃場整備説明会、9月補正予算町長査定</p> <p>28日 JR五能線視察(～29日秋田県、青森県)</p> <p>30日 只見町文化協会との懇談会</p> |
|---|--|

町民の消息

(7月26日～8月25日届出分)敬称略

■お誕生おめでとうございます

馬場新士^{あらし}(男/新樹・友梨) 蒲生

■ご結婚おめでとうございます

黒谷五十嵐輝♡佐藤美希 叶津
小林堀金薫♡飯塚真希 小林

■おくやみ申し上げます

柳林 貴志子	92歳	黒谷
梁取 良助	85歳	大倉
渡部 宏介	79歳	黒谷
橘 キチヨ	91歳	坂田
星 健作	91歳	梁取
渡部 春野	98歳	長浜
松永 孝	77歳	只見
諏佐 一正	92歳	梁取

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成30年8月1日現在

人口 4,266 (± 0)
男 2,101 (+ 1)
女 2,165 (- 1)
世帯数 1,868 (+ 2)
高齢化率 45.39%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 10 転出 7 出生 1 死亡 4

あとがき

▽暑かった夏の気温も落ち着きを見せ、最近では朝晩の冷え込みにより秋の訪れを少しずつ感じるようになりました。
▽長岡藩家老・河井継之助の命日にあたる8月16日は、塩沢の医王寺で墓前祭が執り行われ、長岡市などからも多くの方々が参列しました。今年は戊辰150年という節目の年だったことから、報道関係者の姿も多く見られ、関心の高さを感じました。
▽「奥会津只見戊辰150周年記念事業実行委員会」では、9月に講演会や史跡巡りイベントといった記念事業を実施する予定です。皆さまぜひご参加ください。

(三瓶)

生涯学習サポーター
三瓶美由紀

朝日振興センター
図書室 ☎84-2111

おすすめ新着図書

★ねむとココロ



木村カエラ/作
(KADOKAWA)

いつも何かモヤモヤとした気持ちを抱えていた「ねむ君」。そんな気持ちをどうしていいかわからなくなった時、「ココロちゃん」に出会います。

そして、ココロちゃんと話していくうちに、ねむ君は本当の

自分の「心」に必要なものは何かということに気づいていく……。木村カエラ初の描き下ろしで、子供から大人まで楽しめる絵本です。

★昔話法廷



NHK Eテレ「昔話法廷」制作班/編
(金の星社)

おなじみの昔話を現代の法廷で審議。あなたが裁判員ならどうする？

裁判員制度を考える中高生向けの番組ながら、その意外性とシュールさが大人の間で話題となりSNSでも議論が飛び交った話題の番組を、小説で完全再現！

番組では視聴者に考えてもらうという意図のため結審するところで終わりますが、書籍にはその後の裁判員による評議のシーンを新たに追加しています。

★朝日振興センターではリクエストを随時受付しています。読んでみたい本があればぜひ、リクエストしてください。

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

ブナハリタケ

(学名: *Mycoleptodonoides aitchisonii*)

[エゾハリタケ科 ブナハリタケ属]



▲倒木にみっしりとついたブナハリタケ



▲缶詰で保存したブナハリタケ

ブナハリタケは、日本全国の主にブナ林に分布するキノコです。9月下旬から10月にかけて、主に立ち枯れのブナの幹に、乳白色の3~10cm程度の半円形やへら型の傘が重なるように群生します。表面はなめらかですが、カサの下には名前の通りの針の様な突起が密生しています。スポンジのような肉質で、独特の香りがあります。東北地方を中心に広く食用にされており、「カヌカ」、「ブナカヌカ」などとも呼ばれます。

只見町では「カノシタ」と呼ばれ親しまれています。カノシタと言うとカノシタ科のカノシタ(学名 *Hydnum repandum*)がありますが、こちらは地上に生えるキノコで柄があり有毒です。ブナハリタケは、一度にたくさん採れるため、しばしば保存用に塩漬けされましたが、現在では水煮を缶詰で保存することも多くなりました。香りを楽しむお吸い物やカノシタ飯、塩漬けウドとの油いためなどとして食します。只見町を含む南会津地方では、ニシンと一緒に漬けこむ特徴的な食べ方があります。樽に麴(あるいは甘酒)・山椒の葉・塩を混ぜたごはん、ニシン、塩抜きしたブナハリタケを段々に重ねて行き、笹の葉で覆い、しっかりとふたをして重石を載せて漬け込み、冬の保存食としました。

※山菜やキノコ類を採取する際には入会権や類似の毒キノコとの識別に配慮・注意してください。

企画展

「只見の古民家は何の木でつくられているのか？」

—その建築様式と使用木材種—

と き:8月11日(土)~10月31日(水)

ところ:ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

講演会

「只見の古民家は何の木でつくられているのか？」※会場・時間に変更有

講 師:井田秀行氏(信州大学教育学部准教授)

と き:9月24日(月・振替休日)14:00~16:00

ところ:朝日振興センター 2階ホール

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください

※イベントの詳細情報はブナセンターホームページかおしらせばんをご覧ください。